

(記 載 例)

様式第 1 (第 7 条関係)

令和〇年 〇月 〇日

(宛先) 津島市長

(申請者)

住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇番地

氏名 津島 太郎

電話番号 0567-24-1111

津島市定住促進補助金交付申請書

(建築物等の概要)

建物所在地	津島市立込町 2 丁目 21 番地	建物の登記事項証明書を確認の上、 記入してください。
構造・階数	木造 (2 階建) ・ 非木造 (階建)	
床面積	1 階 50.54 m ² 、2 階 43.56 m ² 、3 階 m ² 延べ 94.10 m ² (併用住宅の場合は、居住の用に供する部分の床面積)	
建築年月	平成 4 年 12 月	
取得年月	令和 6 年 4 月	
工事の名称	津島太郎 邸リフォーム工事	
補助申請額	金 円	提出時点では空白のままとしてください
補助事業実施 予定期間	令和 7 年 7 月 1 日 ~ 令和 7 年 8 月 10 日	
施工予定業者等	施工業者名 : 津島建設 (担当者 〇〇) 所在地 : 津島市立込町 2 丁目〇〇番地 (電話 〇〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇〇)	

添付書類の中には発行に手数料がかかるものがあります。
予めご承知ください。

添付書類

- (1) 付近見取図
→住宅の場所がわかる地図（電子地図や住宅地図など）。
- (2) 建物平面図
→住宅の間取りが分かる図面。住宅を取得した際の契約書等をご確認ください。
- (3) 補助対象住宅に係る登記事項証明書
→リフォームする住宅に関する「建物」の登記事項証明書を法務局で取得してください。
- (4) リフォーム工事費見積書（内訳がわかるもの）
→工事を依頼する予定の事業者等より取得してください。
- (5) リフォーム内容のわかる図面
→工事を依頼する予定の事業者等より取得してください。
- (6) 着手前の状況を示す写真（補助対象住宅の全景写真及びリフォームを行う部位ごとの写真）及び当該写真の撮影の位置及び方向を記した図面
→別紙例を参考に作成ください。
- (7) 補助対象住宅に居住する旨を記した申立書
→別紙申立書の記入例を参考に作成してください。
- (8) 申請者及び配偶者が補助対象住宅のほか、市内において自らが住むための住宅を有していないことを確認できる書類（固定資産名寄帳など）
→補助対象住宅が申請者の単独名義の場合、申請者は「固定資産名寄帳」、配偶者がいる方は、配偶者は「無資産証明書」をそれぞれ当市の税務課にて取得してください。
※配偶者が市内で固定資産を所有している場合は、申請者と同様に「固定資産名寄帳」を取得してください。
- (9) 申請者及び配偶者が市税を滞納していないことを明らかにする書類（完納証明書など）
→完納証明書を取得される場合、当市の収納課で取得してください。
※配偶者がいる場合は、配偶者分の完納証明書も取得してください。
- (10) 3年以上居住すること及び暴力団員でないことを誓約する書類
→別紙誓約書の記入例を参考に作成してください。
- (11) 固定資産税を口座振替で納税することがわかる書類（銀行に提出した依頼書など）
→銀行に提出した依頼書がない場合は固定資産税を口座振替で納めたことが確認できる通帳の写しなど
- (12) リフォームする業者の建設業許可書の写し（市内建設業者が施工する場合に限る。）
→（該当する方のみ）工事を依頼する予定の事業者等より取得してください。
- (13) 津島市空き家バンクに登録されていたことを証する書面（空き家の場合に限る。）
→（該当する方のみ）住宅の取得に関する契約を交わした不動産事業者等にご確認ください。
- (14) その他市長が必要と認める書類